

## 2025年いちご会「春の近江八幡水郷巡り」

11期 井上史三

11期のいちご会では近江八幡市の水郷巡りをしてきました。4月17日（木）から18日（金）の二日間、片田寛さん、上村人史さん、窪田安英さん、杉森和義さん夫妻、加藤忠好さん夫妻、向幸子さん夫妻と井上史三、和子と、東は関東支部から西は近畿支部までの総勢11名の参加となりました。

初日4月17日（木）はJR近江八幡駅に各自それぞれ電車、車での集合で全員そろったところで早速水郷巡りの乗船場へと向かったところです（片田さんは乗船場で合流）。



乗船場の茶屋まえにて

（加藤忠好撮影）

二艘の和舟に乗船したのですが、船頭さんはこのようないでたちで水郷巡りの情緒を楽しく盛り上げてくれました。

乗船してしばらく、細い水路を抜けてやや広いところで船頭さんは和舟の櫓をこぎながら水郷巡りの魅力を語り、のんびり唄などで我々を楽しませてくれました。



加藤忠好さんなどは、船頭さんの櫓をこぐ姿に「私にも漕がせてくれませんか」とリクエスト、船頭さんは快く承諾し「このようにして漕いだらよいですよ」と手ほどきまでしてくれました。



和舟の櫓をこぐ加藤さん

、  
加藤さんは手慣れたものでまっすぐと進むことができたところで、それではと私（井上史）も生まれて初めての櫓漕ぎに挑戦、でもやはり見様見真似は難しくてヨレヨレの航跡しかできませんでした。

水郷ヨシ群生地を横に見て更に広いところでは正面に安土城址の小山が望め、あれが安土城址かと思い、明日にでも行ってみようかとの気持ちにさせてくれました。



正面の三角小山は安土山



水郷巡り行程図

水郷弁当付きの和舟水郷巡りを終えて、本日の宿泊場所 休暇村近江八幡に向かう前に、水郷近くのラコリーナ近江八幡に立ち寄り、その奇観ともいるべき建物と名物のバウムクーヘンの製造工程を見学、コーヒーを飲みながら思い思いのケーキを楽しむことができたのです。



ラコリーナ母屋 もっと季節が進めば緑の屋根になるところ

ラコリーナを出発してからは、琵琶湖畔沿いの道を進み、運悪く休業日のシャーレ水が浜を横目にして休暇村近江八幡に到着。

休暇村の夕食は近江牛尽くしのご馳走膳で一同大満足の宴でした。



近江牛だらけのご馳走膳

夕食後の団欒は恒例の茶会を開催、一年ぶりの再会を愉しみ、2時間ほどしてお開きとなりました。

翌日18日（金）は朝食後、八幡山近くの日牟禮八幡宮を見学、



日牟禮神社

八幡山ロープウェイで八幡山からの眺望を愉しみ、降りては手打ちそば処 日牟禮庵のそばをこれまた楽しんだ後、JR近江八幡駅にて13:00頃 解散。

今回もまた北陸支部の開催ということでは向幸子さんのご主人向沖継さんの企画立案、実施で大変お世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。